

令和3事業年度

決算報告書

第18期

自：令和3年4月 1日

至：令和4年3月31日

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

令和3年度 決算報告書

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,766	5,716	△ 50	(注1)
施設整備費補助金	154	117	△ 36	(注2)
補助金等収入	268	391	123	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	12	12	—	
自己収入	640	722	81	
授業料、入学金及び検定料収入	514	525	10	
財産処分収入	—	25	25	(注4)
雑収入	126	172	45	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,784	2,127	342	(注6)
目的積立金取崩	644	701	56	(注7)
計	9,271	9,789	517	
支出				
業務費	7,052	6,773	△ 278	
教育研究経費	7,052	6,773	△ 278	
施設整備費	166	129	△ 36	(注8)
うち給排水設備のライフライン再生	154	89	△ 64	
うち長寿命化促進事業	—	27	27	
補助金等	268	391	123	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,784	1,860	75	
長期借入金償還金	—	—	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	11	11	(注10)
計	9,271	9,166	△ 105	
収入-支出	—	622	622	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因経費(退職手当及び年俸制導入促進費)が6百万円交付されたこと、また運営費交付金に計上した債務繰越分が予算段階の金額よりも57百万円少額であったことにより、予算金額に比して決算金額が50百万円少額となっております。

(注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった令和3年度施設整備費補助金(長寿命化促進事業)が27百万円交付されたこと、また予算段階の金額よりも交付額が64百万円少額であったことにより、予算金額に比して決算金額が36百万円少額となっております。

(注3) 補助金等収入については、予算段階の金額よりも受入額が多額であったことにより、予算金額に比して決算金額が123百万円多額となっております。

(注4) 財産処分収入については、予算段階では計上していなかった西ノ京宿舍の売却が生じたことにより、予算金額に比して決算金額が25百万円多額となっております。

(注5) 雑収入については、主として学術指導収入及びDSCコンソーシアム収入の増加等が要因となり、予算金額に比して決算金額が45百万円多額となっております。

(注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として受託研究等の受入額の増加等が要因となり、予算金額に比して決算金額が342百万円多額となっております。なお、決算金額については前期からの繰越金187百万円を含んでおります。

(注7) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった取崩事業が発生したことにより、予算金額に比して決算金額が56百万円多額となっております。

(注8) (注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が36百万円少額となっております。

(注9) (注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が123百万円多額となっております。

(注10) 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金については、(注4)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が11百万円多額となっております。